



上越市立牧小学校

第2号

# 学校だより

令和2年6月1日

## 心をつなぐ 学びをつなぐ ～学校の役割～

校長 百目鬼 弘通

令和2年5月11日（月）、国の全都道府県を対象とした緊急事態宣言を受けた臨時休業から学校が再開されました。本校は分散登校をせずに19日（火）までは、午前4時間給食後下校、20日（水）からは、通常の教育活動での学校再開です。感染防止対策を強化し、子どもたちの健康、安全、安心に万全な体制で学びの保障と心のケアに努めて参ります。

さて、この新型コロナウイルス禍の中、中央教育審議会初等中等教育分科会岩本悠さんは、「コロナ禍は、私たちに多くの深い問いを投げかけてきます。その問いにより私たちは、今まで無意識・無自覚だったことに日々気づかされています。そのなかのの一つは、学校の価値です。休校になり、当たり前だった日常が失われたことで、そもそも学校は何を担い、何を守り、何を育てていたのかが、改めて顕在化してきました。学校は狭い意味での「教育」に留まらない「福祉」的な価値（例えば健康的な生活リズム、子どもの安全な居場所等）も担っていることが如実に浮き彫りになってきたと感じています。（中略）今は学校や教育行政だけですべてを解決することは困難な状況であります。多様な子どもを誰一人取り残さないためには、今こそ学校が地域社会と連携・協働し、多様な専門職を含めたチーム学校として、どんな家庭の子どもであっても、どんな地域に生まれても、障害の有無や国籍などに関係なく、すべての子どもが社会とつながり（包摂され）守られ、それぞれに必要な学びを確保できるようにすることが必要です。」と述べています。

学校の大きな役割の一つは、「人と人をつなぎ、心と心をつなぎ、人と学びをつなげていくこと」と考えています。そして、それは学校の教職員だけでは完結せず、保護者、地域の皆様、関係専門機関等、学校に携わる全ての方々の叡智を集めて創り上げていくものと認識しています。そのためには、岩本さんが言われるように「チーム学校」の構築が欠かせません。

（「チーム学校」については、平成27年12月中教審第185号答申で示されています）子どもは地域の宝です。学校運営協議会を始め、“We are in the same boat.”として「チーム学校」の実践を目指して、これからも「牧っていいね」「牧を熱くしよう」の合い言葉のもと、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



〔みんな、待ってたよ！〕

## やっぱり、学校って楽しいなあ！～勉強に 遊びに 熱中する 牧っこたち～

学校の再開に当たり、休業中の困ったことや学校再開への不安感、楽しみにしていること等のアンケート調査を実施し、それをもとに学級担任は一人一人と教育相談を行いました。休業中、「困ったことはない」と回答した子どもがほとんどでしたが、学習について、「課題の答えがあれば勉強がはかどった」と課題に対して前向きに取り組んでいる様子もうかがえました。学校が再開して「楽しみにしていること」は、「外でいっぱい友達と遊びたい」「友達と一緒に勉強するのが楽しみ」「早く野菜を植えたい」「みんなとたくさん話したい」「委員会活動をしたい」等、学校生活を楽しみにしている子どもたちの思いがあふれていました。子どもたちの思いが叶えられるよう、最大限の努力をして参ります。



〔3密を回避して〕



〔給食も始まりました〕



〔タイヤパークは人気スポット〕

## 感染予防対策 ～新型コロナウイルスとともに生きていかなければならない認識に立つ～

子どもたちの健康、安全、安心を守るため、様々な取組を行っています。感染予防の正しい知識と「新しい生活様式」を全学級で発達段階に応じた指導を養護教諭が行いました。手洗い場には、間隔をとるための動物の足跡シートを貼付して楽しみながら予防策を行ったり、教室の座席も平常時に比べ、間隔を広く取り対面とならないように授業を行ったりしています。放課後には、教職員総出で消毒作業を行っています。引き続き、万全の感染症対策を講じて参ります。



〔感染予防の正しい知識を〕



〔密集回避の足跡シート〕



〔放課後は消毒作業です〕

## 6月の予定（今後変更される場合があります）

- |                |         |                  |
|----------------|---------|------------------|
| 8日（月）小中挨拶運動    | ～12日（金） | 20日（土）家族との絆を深める日 |
| 10日（水）1～4年安全教室 |         | 22日（月）1・2年防犯教室   |
| 11日（木）クラブ活動    |         |                  |

今月のことば：艱難（かんなん）汝（なんじ）を玉（ぎょく）にす

〔人は困難や苦勞を乗り越えることによって、初めて立派な人間に成長するということ〕